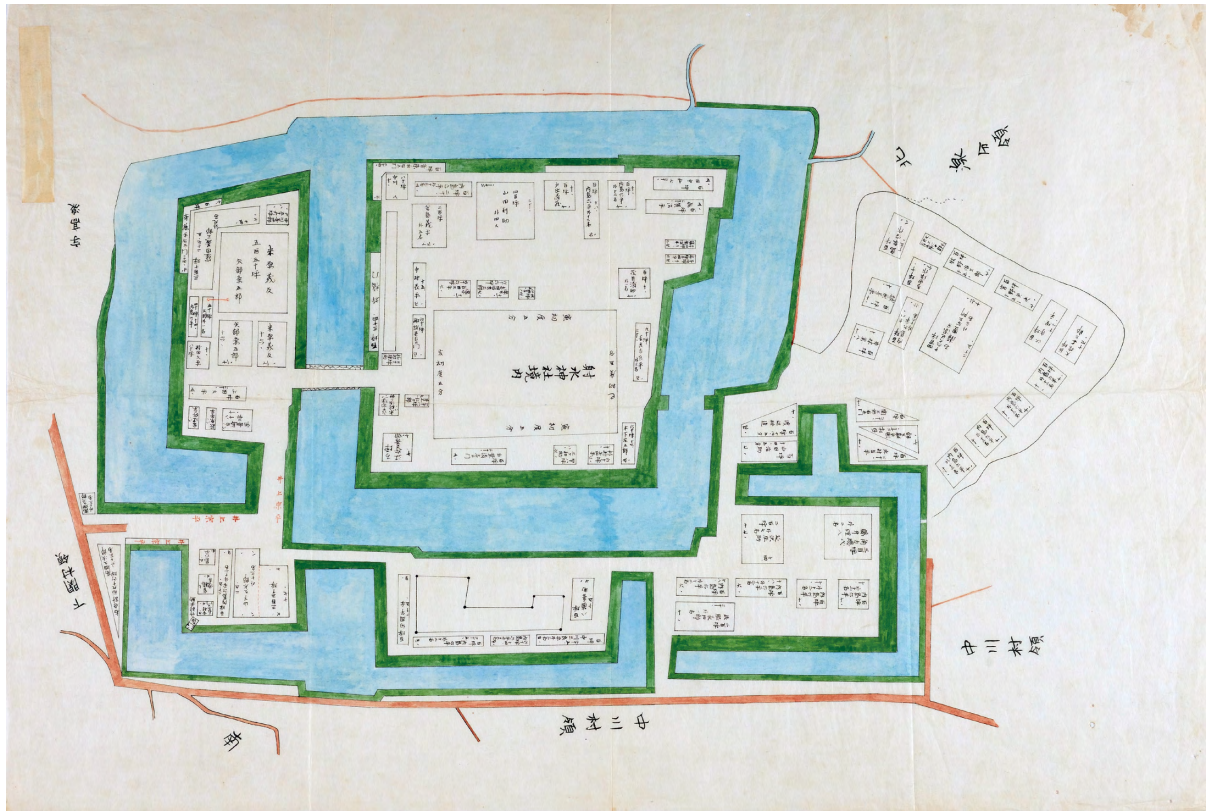


博物館だより



高岡城跡落札区分図(写)

昭和初期(原図は明治5~8年頃)、当館蔵

富山県唯一の「日本100名城」である高岡城跡の落札区分図(写)。本図には表題、凡例、年代などが書かれておらず詳細は不明である。高岡城跡は廃藩置県後の明治5年(1872)、七尾県により民間に払い下げられた。面積は水堀を除いた約102,300㎡(31,000坪)、落札者ごとに64名義(のべ347人)、81区間に分けられている。地所は4,250円で全て伏木の藤井能三(「外百数十人」説もある)が落札したといわれるが、本図にその名はない。樹木は1,000円(「若干金」説もある)で高岡の内島六平が落札したといわれるが、本図には「内島六平外十二名」とある。その名義が最も多く、14区画(1,360坪)ある。しかし実際には開墾はされなかったといわれる。

明治6年1月、「正院達(太政官布達)第16号」(公園制度創設)が公布されて以降、第17大区々長・服部嘉十郎らにより高岡城跡の公園指定請願運動がおこったとされる。同8年(1875)7月4日、運動は実り、城跡は「高岡公園」に指定された。

【2025年7月26日(土)~10月5日(日) 国史跡指定10周年記念 特別展「高岡古城公園の150年」を開催予定】



利長くん

令和6年度の高岡市立博物館

◆常設展 「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

本展では、高岡市の歴史・民俗・伝統産業等について、適宜展示を充実させながら分かりやすく紹介しています。また高峰議吉別荘「松楓殿」関係資料展示室（新館第3企画展示室）も通年で開催しています（古田土雅堂画食堂天井画4点と修復した1900年パリ万博出品の荒木探令画《絹本墨画雪山山水図》を展示）。

【お宝コーナー】

今年度、本展示コーナーでは5つのミニ展示を行いました。「高岡の春」（会期：前年度3/16～5/12）では、当館が所蔵する高岡の「春」を描いた各種の資料を展示・紹介しました。「博物館所蔵の國泰寺資料」（会期：6/8～8/12）では、令和6年（2024）が高岡市太田の國泰寺（臨済宗國泰寺派大本山）の開山国師生誕750年の節目にあたることから、初公開となる山岡鉄舟書簡（八坂金平宛）など当館収蔵の國泰寺関連資料を展示・紹介しました。「新発見！最古の御車山絵画資料」（会期：8/24～10/27）では、新発見となる国指定重要有形・無形民俗文化財「高岡御車山祭」の行列を描いた最古と思われる屏風を展示・紹介しました。「原本新発見！前田利長を見舞う徳川秀忠書状」（会期：11/9～12/22）では、原本新発見となる高岡城で病臥する利長に対する将軍秀忠の見舞状を展示・紹介しました。現在開催中の「高岡の名木・七本杉」（会期：R7.1/18～3/16）では、かつて高岡駅前（末広町通り）にあった巨木・七本杉を描いた絵画や写真絵葉書、伐採された古材を使用した火鉢や置物台などを展示し、高岡の名木を紹介しています。



「新発見！最古の御車山絵画資料」
(8/24～10/27)



「原本新発見！前田利長を見舞う徳川秀忠書状」
(11/9～12/22)



「高岡の名木・七本杉」
(R7.1/18～3/16)

◆企画展 その他の事業

館藏品展「昔の道具とくらし」（会期：4/1～7/7）では、当館が収蔵する衣・食・住などの古い生活道具類「民具」を展示し、特集展示コーナーでは懐かしの屋外広告「ホーロー看板」など（計80件90点）を展示・紹介しました。特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」（会期：7/27～10/6）では、令和6年（2024）は高岡市太田にある國泰寺（臨済宗國泰寺派大本山）の開山国師・慈雲妙意（清泉禪師。1274～1345）生誕750年の節目にあたることから、同寺に伝わる古文書等の資料（計116件154点）を展示・紹介しました。企画展「映画ポスター・チラシ展」（会期：11/23～R7.1/13）では、当館収蔵の主に戦前期の映画ポスター・チラシ類（神初家資料）、及び市内映画館関係資料（計76件98点）を展示・紹介しました。現在は館藏品展「昔の道具とくらし」及び併設展示「被災資料レスキュー展」（R7.2/1～）を開催中です（ともに次年度7月6日まで開催予定）。

講演・講習会では、郷土高岡に関わる様々な話題について各研究者よりご紹介いただく郷土学習講座（全3講。6/8、9/7、11/30）や特別展講演会（8/3）、伝統産業講習会（10/12）、古文書講座（9～11月。全6講）などを行いました。そのほか、当館学芸員が小・中学生向けの自由研究・調べ学習をサポートする「教えて！学芸員」（8/1～8/31）、桜の開花時期にあわせた屋上開放「古城公園展望台」（4/5～7、4/13～14）、当館茶室「松聲庵」で行う呈茶の会（4/6、10/26）を開催するなど、今年度も多くの方々に博物館へご来館いただきました。



郷土学習講座「歴史地震に学ぶーとやまの災害とその教訓ー」(6/8)



特別展「開山国師生誕750年記念 國泰寺宝物展」(7/27～10/6)



伝統産業講習会
「漆器の塗り工程と取扱い」(10/12)

新収蔵資料紹介（令和7年1月31日現在）

・購入（13件13点。購入順）

No.	資料名称	点数
1～2	堀川敬周筆《紙本墨画七福神図》。同《紙本淡彩桜図》	2
3	年未詳12月26日付本願寺光撰書状（前田治修宛）	1
4～5	林忠正『日本美術の歴史』（仏文）。アルマイト製鍋（立山アルミニウム工業(株)製）	2
6～10	堀川敬周筆《紙本墨画松尾芭蕉図》。高田蕙圃筆《紙本彩色韓湘子図》など	5
11～13	『売券証／堀 紋蔵』（横田村）『神社移転関係書類綴』（横田耕地整理事務所）など	3

・寄贈（85件約4,090点。受入順。一括資料は仮に100点と計上。うち被災資料レスキュー対応件数12件（未登録3件含む））

No.	被災資料 レスキュー	資料名称	点数	寄贈者	No.	被災資料 レスキュー	資料名称	点数	寄贈者
1		戦時中絵葉書	(一括)	畠 利之氏	48～49		鉄製灰皿、真鍮製恐竜置物など	2	(株)四津井
2		万葉線開業記念乗車券	5	上坂哲也氏	50		西福寺文書(「高岡覚書帳」、「越中高岡御公用記録／伊藤」等)	8	西福寺 (四柳正寛氏)
3		富山土人形(天神・雛人形)	(一括)	匿名希望	51		蔵水旧蔵資料(俳誌「くらげ」主宰／俳諧関係資料など)	(一括)	大西紀夫氏
4～5		木彫天神座像(井波)。紙本彩色東帯天神座像	3	射水神社事務所	52		大野伊吉「実業之富山」創業者関係資料(戸出物産概写真、26事件を父に伝える書簡等)	(一括)	匿名希望
6	①	高岡市伏木・粟田家資料	(一括)	粟田吉弘氏	53～55	⑥	「高岡市長江・波岡耕地整理仮配当関係」綴、野帳など	3	坂井 理氏
7		高岡市浪町・村本与三兵衛家文書	(一括)	匿名希望	56		高岡市坂下町・中田忠七商店資料	(一括)	中田忠七商店
8～12	②	高岡合同製麺所検査合格証。铸銅兜文花など	36	栗山輝雄氏	57		時太鼓(射水郡野村)	1	坪田孝弘氏
13		射水郡下黒田村 地券(石川県発行)	90	中村正憲氏	58		「高岡市百姓町式丁目略図」	1	千石町2丁目 自治会
14		歌人・喜多紅平等宛書簡	101	小竹大地氏	59		高岡市五長老筆跡(荒井建三、木津太郎平など)	5	齋藤浩一氏
15～17	③	陸軍歩兵上等兵・山本武一歓迎幟、軍隊手帳など	(一括)	山本光雄氏	60～61		砺波郡三清村十村・武部家文書。前田利長書状(10点)	(一括)	匿名希望
18		弁当箱(重ね)	3	匿名希望	62	⑦	勝興寺触頭文書等古文書	約300	大指哲夫氏
19		『社寺名勝 写真帳』	1	林 修氏	63		尼野和三作《高岡御車山・二番町》	1	匿名希望
20		吉田二作筆《佐藤一斎「誌後録」五十五》	1	吉田 泉氏	64	⑧	熊谷(大黒)写真館撮影収集写真(1629点)、正和勝之助書簡集(大黒幸雄宛)など	(一括)	大黒幸雄氏
21～25		太刀 銘 越州住石塚直長、脇差 銘 越州住石塚直長(共に高岡市指定文化財)など刀剣類	5	黒田賢三氏	66～67		「大日本分県地図 富山県」。富山産業大博覧会展見取図	2	石尾純三氏
26		須賀木仙筆《絹本著色不動明王立像》	1	須賀正紀氏	68		「富山県射水郡伏木町大字新嶋町ノ内図」	1	若林政之氏
27		富山県越中国射水郡守山町地引絵図	1	守山地区区長	69～72		皇室関係肖像写真(印刷物)。映画パンフレットなど	19	小川憲治氏
28		浮世絵(加賀藩関係)	12	佐伯孝夫氏	73		高岡市旅籠町・多田漆器店関係資料	(一括)	多田光男氏
29		脇差 銘 越中守高平三男兼若造	1	紺谷悦朗氏	74		木津宏潤作《青貝塗 桜に燕文色紙箱》	1	松野きみ子氏
30		铸銅柄鏡	1	匿名希望	75		高岡市早川耕地整理組合文書	(一括)	匿名希望
31～34		写真アルバム(高岡市学校関係)。磬子など	4	木田祥三郎氏	76～77		写真「農協高岡病院円形病棟竣工記念」。須賀木仙筆《紙本彩色雛図》	2	高橋 文氏
35～39		日立自動トースター。ホーロー看板など	12	匿名希望	78		加賀藩試鑄銭(寛永通宝)	1	長戸幸一氏
40	④	帆船太陽丸(船長・田子竹次郎)関係資料	25	田子竹雄氏	79		増山安太郎氏関係資料	(一括)	増山秋美氏
41		シンガー足踏みミシン	1	中島正義氏	80		富山県立高岡工芸学校附設臨時工業技術者養成科修了証書	1	水越忠夫氏
42～43		正村陶所筆《紙本墨画淡彩七本杉図写》。中島秋圃筆《紙本墨画七本杉図》	2	匿名希望	81		刀 銘 相州住綱廣(山村綱廣作)	1	宮下真知子氏
44	⑤	伏木肥料商・牧野貞次郎関係資料	約350	牧野 明氏	82～83		絵葉書「観光の高岡」。子供用マント	9	晒谷政史氏
45～46		大札の御慶奉行に際し地方警備尺律に付感謝状。「富山県伏木港秋元家蔵品売立目録」など	2	荒木博昭氏	84		映画チラシ類(高岡・金沢)	71	匿名希望
47		三協アルミニウム工業(株) 家庭日用品商品パンフレット	1	高橋 寛氏	85	⑨	「越中国高岡関野神社祭礼繫昌略図」	2	太田幸子氏

・移管（2件30点）

No.	資料名称	点数	寄贈者
1～2	加越能鉄道加越線廃線記念文鎮。筏井茂之画 原画（「現代っ子に語る高岡童話」）	30	匿名希望

※購入・寄贈資料の詳細は、『高岡市立博物館年報 第39号』を参照してください。

資料ご寄贈のお願い

当館では、絵図・古文書や古写真などの「歴史資料」、古い生活道具や農具などの「民具」や銅漆器など高岡の伝統産業に関わる資料を収集しています。これらの資料は後世に歴史や生活文化等を伝える貴重な「文化遺産」です。お持ちの方はぜひご寄贈いただきたくお願い申し上げます（高岡関係の資料に限らせていただきます）。

高岡市立博物館 スケジュール(予定) 2025年4月～2026年3月

イベントスケジュール	
展示	イベント・講座
4月 4/1 常設展「高岡ものがたりー楽しく知らうーひらめき・ミュージアム」(通年開催) 4/1 高岡藩別荘「松楓閣 関係資料展示室」(通年開催) 4/1 高岡市立博物館「昔の道具とくらし」(7/6～7/26)	
5月	5/31 郷土学習講座「正徳2年「射水郡社号帳」の検討(仮)」
6月	6/28 郷土学習講座「前田利長の生涯と越中の真宗」
7月	7/26 国史跡指定10周年記念 特別展「高岡古城公園の150年」展示説明会①
8月	8/23 国史跡指定10周年記念 特別展「高岡古城公園の150年」展示説明会②
9月	9/11 古文書講座「初めての古文書教室」① 9/25 古文書講座「初めての古文書教室」② 9/27 特別展講演会「近世における古城、明治近代化における高岡公園の開設と地域社会」
10月	10/4 国史跡指定10周年記念 特別展「高岡古城公園の150年」展示説明会③ 10/9 古文書講座「初めての古文書教室」③ 10/23 古文書講座「初めての古文書教室」④
11月	11/6 古文書講座「初めての古文書教室」⑤ 11/8 伝統産業講習会「菅笠の伝統と未来について(仮)」 11/20 古文書講座「初めての古文書教室」⑥ 11/29 郷土学習講座「博覧会と富山(仮)」
12月	
1月	1/31 郷土学習講座「南砺市の遺跡と文化財」
2月	2/7 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会①
3月	3/7 館蔵品展「昔の道具とくらし」展示説明会②

＜当館イベントに参加される方へ＞
・上記イベントの日程や内容は変更となる場合があります。最新情報については当館ホームページやSNS等をご確認ください。

※上記の他に親しみ会イベントも開催予定 (HP等を参照)

◆令和7年度 郷土学習講座 (全4講)

郷土高岡に関わるさまざまな話題について紹介いただく連続講座を開催します。

- ◇演題：「正徳2年「射水郡社号帳」の検討(仮)」
講師：奥田直文氏(富山県立高岡工芸高等学校 教諭)
日程：5月31日(土) [申込開始：5月10日(土) 9:00より]
- ◇演題：「前田利長の生涯と越中の真宗」
講師：塩崎久代氏(石川県近世史料編さん室 室員(文化財専門員))
日程：6月28日(土) [申込開始：6月7日(土) 9:00より]
- ◇演題：「博覧会と富山(仮)」
講師：尾島志保氏(富山市教育委員会生涯学習課 文化財係長)
日程：11月29日(土) [申込開始：11月8日(土) 9:00より]
- ◇演題：「南砺市の遺跡と文化財」
講師：宮崎順一郎氏(南砺市ブランド戦略部 文化・世界遺産課 副主幹・世界遺産文化財係長)
日程：令和8年1月31日(土) [申込受付：令和8年1月10日(土) 9:00より]
※とやま呉西圏域連携事業としても開催

- ・時間：午後2時～3時30分
 - ・会場：当館新館3階講堂
 - ・定員：60名(先着順・要申込)
 - ・受講料：500円(当館親しみ会会員は300円)
 - ・申込方法：電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しみ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。
- ※講師の肩書は、令和7年2月現在のものです。

◆令和7年度 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)

古文書は貴重な歴史の証言者です。郷土の歴史を再発見してみませんか？今年度も、古文書解読初心者の方を対象とした古文書教室を開催します。

- ・日程
〔第1講〕9月11日(木) 〔第4講〕10月23日(木)
〔第2講〕9月25日(木) 〔第5講〕11月6日(木)
〔第3講〕10月9日(木) 〔第6講〕11月20日(木)
- ・時間：午後2時～3時30分
- ・講師：当館・仁ヶ竹主幹
- ・会場：当館新館3階講堂
- ・定員：60名(先着順・要申込)
- ・受講料：1,800円(当館親しみ会会員は1,500円)
- ・申込開始：8月14日(木)午前9時より開始(定員に達し次第締切)
- ・申込方法：電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号・親しみ会入会の有無をお知らせのうえ、お申し込みください。



◆国史跡指定10周年記念 特別展「高岡古城公園の150年」

加賀前田家2代当主・前田利長は、慶長14年(1609)高岡城を築城し、城下町を開きました。利長の死(1614年)の翌年に城は廃城となりますが、3代利常の城下町から商工業の町へ転換する再興政策により、城の水堀や郭が良好に保存され、高岡城跡は破壊の危機を免れました。明治初期にも城跡跡下げの危機がありましたが、現在の高岡市長に相当する職にあった服部嘉十郎(1845～80)ら有志は、落札者たちを説得し、公園指定の請願書を新川県(現・富山県)に提出しました。明治8年(1875)7月4日、城跡は公園に指定されました。近年では古城公園の城跡としての価値と魅力を高めるため、繁茂した樹木を伐採し、城の遺構を見えやすくする整備が進められています。

令和7年(2025)は高岡古城公園の創設150年、高岡城跡が国史跡となって10年とそれぞれ節目の年にあたります。本展では当館収蔵の高岡古城公園関係の絵図・地図を中心に展示・紹介します。

- ・会期：7月26日(土)～10月5日(日)
- ・会場：当館新館企画展示室
- ・入館料：無料

◇会期中のイベント

- ①講演会
 - ・演題「近世における古城、明治近代化における高岡公園の開設と地域社会」
 - ・講師：小林昭裕氏(専修大学経済学部 教授)
 - ・日時：9月27日(土) 午後2時～3時30分
 - ・会場：当館新館3階講堂
 - ・定員：60名(先着順・要申込)
 - ・受講料：500円(当館親しみ会会員は300円)
 - ・申込開始：9月6日(土) 午前9時より開始(定員に達し次第締切)
 - ・申込方法：電話・FAX・メールいずれかの方法で、住所・氏名・電話番号をお知らせのうえ、お申し込みください。
- ②展示説明会(全3回)
 - ・日時：7月26日(土)、8月23日(土)、10月4日(土)
 - 各日午後2時～2時30分
 - ・受講料：無料



- 開館時間 —
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)
- 休館日 —
毎週月曜日
(月曜日が祝・休日の場合はその翌平日)
- 年末年始
(12月29日～1月3日)
- 交通 —
高岡駅から徒歩約15分
- 入館無料 —